

特別号

ラスト3戦観戦記

ACL

あと1ゴール!

サガン鳥栖の2014年シーズンが終わった。J1リーグ戦は通算19勝3分け12敗（勝ち点60）で5位。指揮官の交代、代表選出に伴う主力選手の長期不在など、さまざまな困難を乗り越えて、最終盤まで優勝戦線を闘い続けた。目標としていたACL出場もわずか1得点及ばず逃してしまっただが、選手たちの全力プレーの価値はまったく色あせることはない。熱気と興奮に包まれたサガン鳥栖のラスト3戦に密着した。



第33節/浦和戦



第32節/徳島戦



想い出の地でまず1勝

徳島県鳴門市の大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム。ここに来るのは3年ぶりだ。2011年のJ2第37節。昇格争いの大一番、2位だったサガンが3位徳島と直接対決。キム・ミンヌ選手らの3得点とGK赤星拓選手のPK阻止で勝利。J1を一気に手繰り寄せた。クラブ史上初となるJ1優勝とACL進出へ。新たなステップに進むサガンにとって、ゲンの良い場所ともいえる。

はサガンがホームで5対0と圧勝したが、地元サポーターに白星を捧げるべく、必死の戦いを挑んでくることは想像に難くない。

サガンのスタメンはGK林彰洋選手、センターバックに菊地直哉、キム・ミンヒョク選手、サイドバックは右に丹羽竜平選手、左に安田理大選手。ボランチに藤田直之、岡本知剛選手。サイドは右が水沼宏太、左がキム・ミンヌ選手。2トップは豊田陽平、池田圭選手。

試合は自陣で守備を固める徳島をサガンが攻める展開。前半10分、中盤の藤田選手からのふわりとしたパスを豊田選手がPAの少し外で相手を背負いながら落とす。池田選手が左足でミドルシュート。ボールは枠内に飛ぶが相手GKが落ちていて処理する。その後、相手陣内の左サイドでボールをキープするミンヌ選手が、PA内のニアサイドに顔を出した池田選手へつなぐ。ボールは一旦、後ろに下げられるが、そこから前方へ柔らかいパスが入る。PA内に侵入したミンヌ選手が胸トラップから反転ボレー。ボールは惜しくも枠を外れる。42分には攻め上がったミンヒョク選手がシュートを放つが枠の上。サガンが主導権を握るがスコアレスのまま前半終了。

後半12分、サガンは相手PA左外の絶好の位置でのFK。水沼選手のキックは惜しくもゴールバー直撃。同16分、右サイドから水沼選手があげたクロスから、相手クリアボールを中盤の藤田選手が右足でミドルシュート。惜しくもGK正面。最終サガンペースだが、集中して守る徳島を崩せない。残り時間も少なくなり、スタジアムに流れ出した不穏な空気を払しょくしたのが安田選手。同38分、右サイドのクロスが逆サイドまで抜けたところを、安田選手が追い付く。大きな切り返しから力強くPA内に侵入し右足を一閃。ボールはゴールネットに突き刺さり土壇場で先制!! 安田選手は鳥栖加入後初ゴール。守っても前から積極的にボールを奪いつづけ、4試合ぶりの無失点で連勝。ラスト3戦の初戦を飾ったサガンは勝ち点を56に伸ばし4位をキープ。首位浦和が2位G大阪に敗れたため、サガンは1位との勝ち点を5に縮め逆転優勝の可能性を残した。

小林選手の渾身ヘッド

ホーム最終戦となる首位・浦和戦。浦和はこ5試合で1勝2分け2敗と失速気味だが、今節でサガンに勝ち、G大阪が神戸に引き分けるか負ければ優勝が決まる。アウェイサポーター席は3階席まで真っ赤。メイン、バック両スタンドも1/3ほど占拠されている。サガンのスタメンは前節と同じ。過去の浦和戦5試合で6ゴールと抜群の相性を誇る豊田選手の得点に期待したい。浦和はエース興梃選手がケガで欠場。

キックオフ前のコイントスで、サガンはいつもと違い前半にホームサポーター側ゴールを攻めることになる。序盤から浦和がロングボールでリズムを作る。前半4分、浦和左サイドからの攻撃はパー直撃。対するサガンは同11分、GK林選手のゴールキックから一気に前線へ。池田選手が落としたボールにミンヌ選手が抜け出すシュートできない。同31分、岡本選手が負傷退場し、MF高橋義希選手と交代するアクシデントがあったものの時間が進むとともにサガンが鋭い出足でリズムをつかむ。同33分、サガンは右サイドのパス交換から水沼選手がアーリークロス。ミンヌ選手がヘッドで合わせるがミートできない。浦和のカウンターから相手FWに突破を許すが、必死に戻ったミンヌ選手が体を預けてシュートミス誘う。前半は両チーム無得点で終了。

後半2分、サガンは左サイドから崩され、決定機を作られてしまうが体を張った守備でクリア。同8分、豊田選

鉄・非鉄金属 高価買取

鉄買取価格	区分(円/kg)	メーカー規格サイズ	ギロチン材(▲1.5)
特A	27.2円		25.7円
特級	26.7円		25.2円
一級	26.2円		24.7円
二級			23.7円
アルミ買取価格	区分(円/kg)	100kg以上	100kg未満
アルミホイール		150円	
アルミサッシ(付物なし)	130円		120円
アルミサッシ(付物あり)	120円		110円
アルミ缶プレス	110円		100円
アルミ缶バラ	90円		80円
アルミホイール付タイヤ(日本)	1,000円		500円

産業用機械も買取いたします。詳しくはお問い合わせください。

廃自動車 持込買取

武雄工場が鉄・非鉄金属の取扱いを始めました。

4,000cc 以上	60,000円	1,500cc 以上 2,000cc 未満	35,000円
3,000cc 以上 4,000cc 未満	53,000円	1,000cc 以上 1,500cc 未満	23,000円
2,000cc 以上 3,000cc 未満	50,000円	軽 660cc	18,000円

※表示価格は欠品、ゴミなしリサイクル券付きのお持込み金額。(引取りも致しますが、価格設定が別になっております。)
■市場価格の変動に伴い、予告なく終了する場合がございます。

(平成26年11月5日現在)※市場の変動などにより、価格を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

廃タイヤ 処分します

処分料 普通車・軽自動車

120円 (税別)

重量処分料 (税別) 15円(kg)

※受入できるのは乗用車、軽トラックのタイヤのみです。

アルミホイール付タイヤ(日本) 買い取り 1,000円 500円

15インチ以上 15インチ未満

地球にやさしい環境をめざして

営業品目 製鋼原料・非鉄金属、自動車解体・中古部品販売、建造物解体
アルミ合金、産業廃棄物収集運搬処理業、再生资源リサイクル業全般

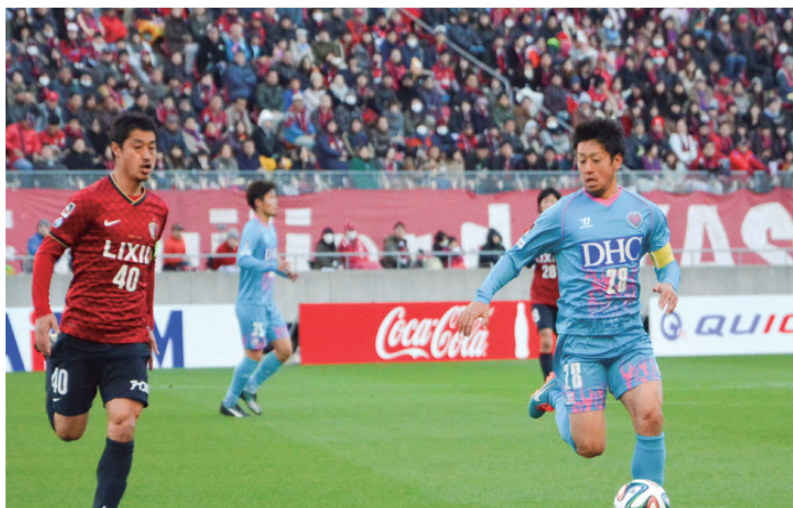
地球資源の有効活用にご貢献

江口金属株式会社

本 社 / 〒849-1103 佐賀県杵島郡白石町大字築切4023-5
TEL (0952) 84-5587 FAX (0952) 84-6194

広川工場 (福岡) / 〒834-0115 福岡県八女郡広川町大字新代1332-73
武雄工場(アルミ工場オートパーツ) / 〒849-2204 佐賀県武雄市北方町大字大崎1341-1
鳥栖工場 / 〒849-0101 三養基郡みやき町原古賀 5207





手が粘ったボールを池田選手がシュートするも枠の上。サガンがリズムを握る展開の中、一瞬の隙を浦和がつく。同24分、ハーフライン付近からのボールに抜け出した相手FWを菊地選手が追いかける。PA付近でのタックルがPKと判定され、菊地選手はレッドカードで退場。このPKを決められ浦和が先制する。流れをつかんだ浦和が猛攻を仕掛けるが、GK林選手を中心にした体を張った守備で追加点を許さない。2万人近いサポーターが詰めかけたスタンドが見守る中、1人少ないサガンは必死の攻めを見せる。ロスタイムに入り、さらに4分が経過。重苦しい空気をベテランが振り払う。左CKを途中出場のDF小林久選手がヘッド。ボールが浦和ゴールに吸い込まれていく。土壇場での劇的同点弾に揺れるベアスタ!! セットプレーをマンマークで守る浦和守備陣を、細かい駆け引きで翻弄した小林選手の冷静な判断が奇跡を生んだ。試合はそのままドローで終了。



第33節/浦和戦



サガン鳥栖オフィシャル応援ツアー



最終戦はアウェイ3位鹿島戦。ACLへの望みをつなぐためにも絶対に負けられない。サポーターも遠く鹿島の地まで足を運ぶ。今年夏に運行開始した春秋航空日本の佐賀発成田着の便をチャーターした「サガン鳥栖オフィシャル応援ツアー」にはサポーターら約120人が参加。佐賀空港では、累積警告で出場停止となった藤田選手ら鹿島戦出場メンバー以外の選手たちとハイタッチしながら搭乗。待ち構えたキャビンアテンダントはサガンのユニホーム姿。選手たちも同乗した機内ではスペシャルグッズが当たるビンゴ大会があるなど、サポーターは気分を盛り上げつつ決戦の地に向かった。

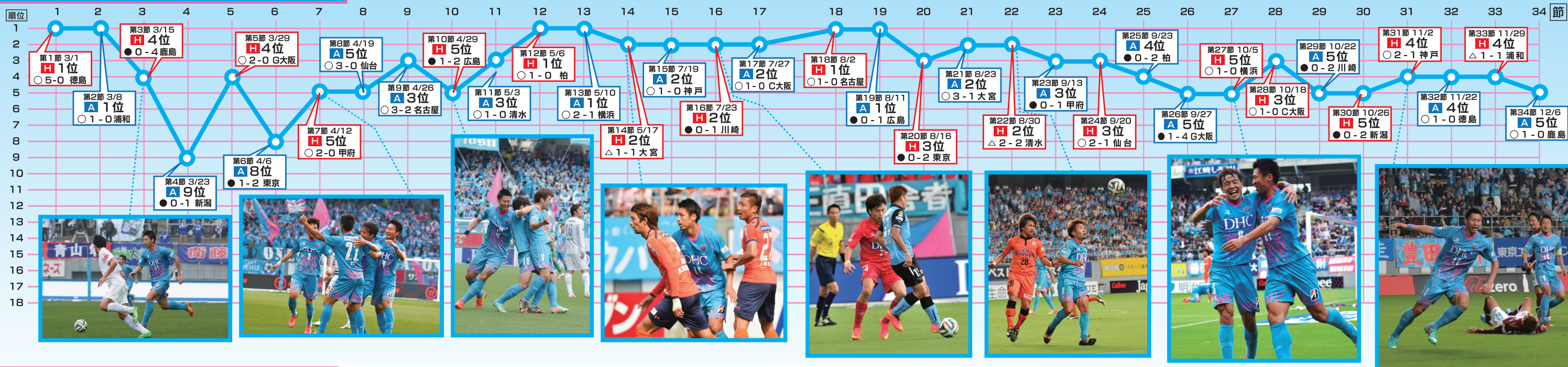
最終戦の地・鹿島スタジアムでは東京、佐賀から駆け付けたサポーター約千人が、赤一色の巨大スタジアムの中、サガンカラーの一面を形成。熱い応援を送った。サガンは警告累積で藤田、菊地両選手が出場停止。負傷で岡本、丹羽選手も欠場と前節のスタメン4人が欠けるピンチ。センターバックには前節劇的ヘッドを決めた小林選手を起用。右サイドバックはチェ・ソングン選手、ボランチには金井貢史選手が今季初スタメン。キャプテンマークは高橋選手が巻いた。

試合はいきなり動く。前半6分、左サイド、安田選手の前方向のクロスを

水色のユニホームで埋め尽くしてほしい」と呼びかけた。

全力出し切る

この日はホーム最終戦ということで試合終了後にセレモニーが行われた。全選手とスタッフが並ぶ中、吉田恵監督らがいさつ。キャプテンの藤田直之選手が「ホーム最終戦は勝つことはできなかったが、1人少ない中、鳥栖らしいサッカーを見せることができた。今シーズン終盤、アディショナルタイムにゴールを決めての劇的な勝利だった。終盤にしっかりと点を取ることができたのも、本当にサポーターのみなさんの熱い応援のおかげだ。自力での3位の可能性は途絶えてしまったが、最終戦しっかり勝ち点3を取りたいので来年以降もサガン鳥栖の応援をお願いします」とスピーチ。続いて吉田恵監督が「シーズン中盤まで首位で走ってきたチームを引き継いだが、なかなかうまく行かず、選手にもファン、サポーターにも本当に心配、ご迷惑を掛けた。苦しい状況の中で選手がもういちど今年の目標である優勝、ACLへ向けて今日のホーム最終戦までしっかりと希望をつないでくれたことを非常に有難く思っている。その間、インターネット等で「吉田デイス」などの書き込みがいっぱいあり、社長、クラブのスタッフに「そんなもん見るな」と怒られ、それ以降、自分の中でもいろいろ吹っ切れた。「指導者の指導者は選手だ」という言葉を信じてこの3ヶ月やってきた。いろいろプライドはなくなったが、そんなもんでもいい。勝つことが一番大事だ、と。選手たちはここまで良くやってくれている。最終戦のアウェイ鹿島戦が残っている。是非、スタジアムの中、外、



2015 サガントス・ドリームパスポート

「サガントス・ドリームパスポート」は、Jリーグ主催のサガン鳥栖全ホームゲームを、フリーで観戦できるパスポート（シーズンシート）です。

お申し込み期間

- 継続割引受付期間
2014年11/2(日)～12/26(金)
- 新規先行割引受付期間
2014年11/8(土)～12/26(金)
- 一般受付期間
2015年1/5(月)～

2014年ドリームパスポート価格表

ドリームパスポート+ファンクラブ年会費(3,000円)料金を含む

席種	観戦割引	新規先行割引	一般	参考(税込)
サガンプラチナシート	※250,000	※270,000	※300,000	
S指定席	大 人 (レ・マシ)	¥82,000	¥85,000	¥90,000
	大 人 (リリュウ)	¥92,000	¥95,000	¥100,000
	小 中 高 (レ・マシ)	¥50,000	¥54,000	¥57,000
5指定席	大 人 (レ・マシ)	¥75,000	¥77,000	¥80,000
	大 人 (リリュウ)	¥85,000	¥87,000	¥90,000
	小 中 高 (レ・マシ)	¥43,000	¥46,000	¥48,000
3指定席	大 人 (レ・マシ)	¥70,000	¥72,000	¥76,000
	大 人 (リリュウ)	¥80,000	¥82,000	¥86,000
	小 中 高 (レ・マシ)	¥40,000	¥43,000	¥45,000
A指定席	大 人	¥67,000	¥69,000	¥72,000
	小 中 高	¥36,000	¥38,000	¥40,000
	大 人	¥56,000	¥58,000	¥60,000
A自由メインスタンド	大 人	¥34,000	¥35,000	¥37,000
	小 中 高	¥30,000	¥31,000	¥32,000
	大 人	¥53,000	¥55,000	¥57,000
A自由バックスタンド	大 人	¥30,000	¥31,000	¥32,000
	小 中 高	¥22,000	¥23,000	¥24,000
	大 人	¥36,000	¥38,000	¥40,000
サポーター席 2階	大 人	¥14,000	¥15,000	¥16,000
	小 中 高	¥10,000	¥11,000	¥12,000
	大 人	¥20,000	¥25,000	¥30,000
サポーター席 3階	大 人	¥5,000	¥6,000	¥8,000
	小 中 高	¥5,000	¥6,000	¥8,000
	大 人	¥5,000	¥6,000	¥8,000

2015年から新たな席種としてサガンプラチナシートを限定50席で販売いたします。通常のドリームパスポート特典と別にさまざまな特典がついているお席となります。

※2014年ドリームパスポートをお持ちの方は継続割引期間であれば継続割引が適用されます。継続先行割引は2014年12/26(金) 購入受付分までとなります。2015年1/5(月)以降の申込は一般価格となりますのでお早めにお申し込みください。

問/株式会社サガン・ドリームス
0942-81-5290
HP <http://www.sagantosu.jp>
Mail info@sagandreams.co.jp

サガン鳥栖 検索



チームと選手の活躍とともにベアスタも盛り上がった。ホームゲームの1試合の平均入場者数は1万4137人で、昨季(1万2026人)から飛躍的に増加。ホーム川崎戦では、プロ野球・福岡ソフトバンクホークスとタイアップした限定ユニホームを配布し、クラブ史上最多となる2万3277人の動員を達成した。佐賀市にサガンのユースチーム寮が出来るなど環境面でも整備が続く。今年、紙一重で届かなかったACL出場、そしてタイトルへ。サポーターのさらなる後押しが必要だ。



今シーズンのサガンの勝利数は19。これは優勝したG大阪と同じ成績だ。1対0での勝利が全試合の約3分の1にあたる10試合ある半面、1点差負けも7試合あり、引き分けに持ち込めなかったことが最後に半歩及ばなかった原因となった。シーズンを通して守備が安定。総失点33はリーグ5位で躍進の要因となった。最終ラインでは今シーズンフル出場を果たしたGK林、DF

池田選手がポストプレー。PA手前にいた高橋選手がダイレクトで右足を振り抜くとボールは相手GKの指先をかすめゴールへ一直線。高橋選手の今シーズン初ゴールで先制に成功する。その後もサガンは前への意識を高め攻撃を繰り返す。31分、再び右サイドを突破した水沼選手のグラウンダー気味のクロスニアの豊田選手が合わせるがサイドネットに外れてしまう。中盤の金井、高橋選手の寄せも安定していて、鹿島に主導権を渡さない。前半はそのまま終了。後半開始から鹿島が攻勢を強めるが、サガンは隙を縫ってカウンターを放つ。後半13分、水沼選手が右サイドからボールを持ち込みシュート。GKに弾かれ得点はならなかったが切れ味鋭い攻撃を見せる。直後に鹿島は細かいパス回しから抜け出してシュートを放つが枠を外す。徐々に鹿島の支配率が高まるが、サガンは同19分にMF谷口博之選手、同26分にDF磯崎敬大選手を投入するなど、守り勝つという意識を徹底させる。鹿島も次々に攻撃のカー

3年目の進化

ドを切るが、サガン守備陣は集中した粘り強いプレーで対抗する。そしてロスタイム。鹿島が放ったシュートはゴールポストで跳ね返る。これを鹿島の選手が詰めてゴールしたかに思われたが、オフサイドの判定。赤い大観衆の悲鳴が響く。試合はそのまま終了。サガンはラスト3戦を2勝1分分で終え、通算成績は19勝3分け12敗(勝ち点60)となった。勝ち点差で並ぶ5位柏の試合は雪のため後日行われた。柏は新潟に2対0で勝利し得失点でもサガンに並んだため、得点数で7上回る柏が4位になった。サガンの最終順位はJ1昇格初年と同じ5位となった。得失点差で首位に立っていたG大阪は徳島と引き分けたが、浦和が名古屋に逆転負けを喫したため、9年ぶり2度目の優勝を決めた。G大阪は天皇杯も制したため、ACLには4位の柏も出場することになった。

菊地選手を中心に落ち着いた守備を見せた。新加入のミンヒョク選手は27試合に出場し、スピードと高さで対戦相手に自由を与えなかった。またサイドバック安田選手の加入で左サイドが活性化。精度の高いクロスだけでなく、高い位置でのボールキープでも攻撃に貢献。ミヌ選手の突破をアシストするだけでなく、逆サイドの攻撃性を高める相乗効果を生んだ。素早く守備に戻ったり、ディフェンスラインでの落ち着いたプレーで守備面も貢献。センターバックだけでなく中盤の守備面での負担を減らす効果を生んだ。藤田選手を軸にしたボランチも安定。あうんの呼吸で連携してセカンドボールを奪い展開する様子は熟練の域に達していた。逆に総得点41はリーグ12位。シーズン中盤から相手チームに研究されて苦しんだ。エース豊田選手へのマークがさらにきつくなっただけでなく、ディフェンスの枚数を増やして対抗するチームもあった。その中でも豊田選手は得点ランク2位の15得点をマーク。ラスト3連戦を、今季初ゴールの選手3人による得点で2勝1分分で終えるなど、勝負強さが目立った。チームの活躍に連動して選手が各国代表に選ばれることも多くなった。豊田選手はブラジルW杯代表には選出されなかったが、11月の国際親善試合で日本代表に復帰し、代表初ゴールも記録した。ミヌ選手も韓国代表に選出。ミンヒョク選手は